

2022年3月23日

報道各位

住友金属鉱山株式会社
住友商事株式会社

豪州ノースパークス鉱山における既存鉱体拡張開発の完工について

住友金属鉱山株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：野崎 明、以下「住友金属鉱山」）と住友商事株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役 社長執行役員 CEO：兵頭 誠之、以下「住友商事」）は、中国の資源企業であるチャイナ・モリブデン社（China Molybdenum Co.,Ltd 本社：中華人民共和国河南省洛陽市 CEO：Sun Ruiwen、以下「CMOC 社」）と共同で操業中のノースパークス鉱山（豪州ニューサウスウェールズ州、以下「本鉱山」）における既存鉱体の拡張部分（E26 鉱体 Lift1North）の工事を完了し、生産を開始しました。

本鉱山は、1994 年から銅・金鉱床を採掘し銅精鉱を生産しています。現在主力である E48 鉱体に次ぐ採掘対象として、2019 年より E26 鉱体 Lift1North の開発に着手し、2022 年 3 月から生産を開始しました。採鉱法は E48 鉱体と同じくブロックケービング法（添付資料参照）を採用しています。今回の開発により、約 9 年間の操業延長が可能となります。

住友金属鉱山は、本開発のような既存鉱山の生産量維持の投資にも取り組む中で、引き続き銅権益分生産量 30 万トン/年の長期ビジョン実現に向けて前進していきます。

住友商事は、中期経営計画「SHIFT 2023」における資源・化学品事業部門の事業戦略として、サステナブルな社会の実現に向けた銅・ニッケル・リチウムへの商品ポートフォリオのシフトを掲げています。今後も安定的な銅の生産・供給に努め、2050 年のカーボンニュートラル化に貢献していきます。

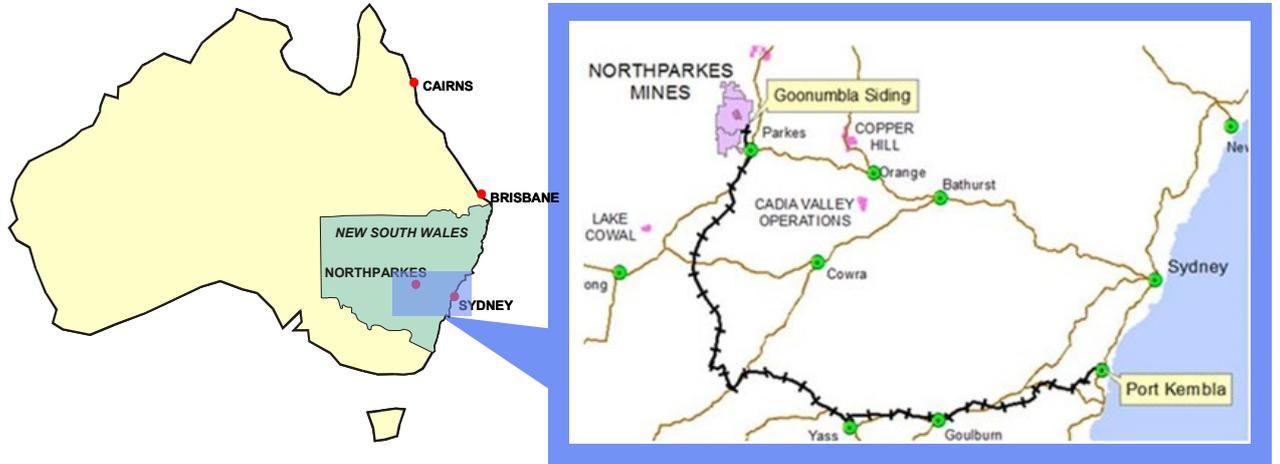
【本件に関するお問い合わせ先】

住友金属鉱山株式会社	広報 IR 部	03-3436-7705
住友商事株式会社	広報部報道チーム	新井（080-1038-8815） 浅田（080-6684-9990）

【添付資料】

1. ノースパークス鉱山位置図

豪州ニューサウスウェールズ州、パークスの北西 27km、シドニーの西方約 300km に位置する。



2. ノースパークス鉱山 坑外外観写真 (CMOC 社提供)



3. CMOC 社 概要

設立：1999年12月

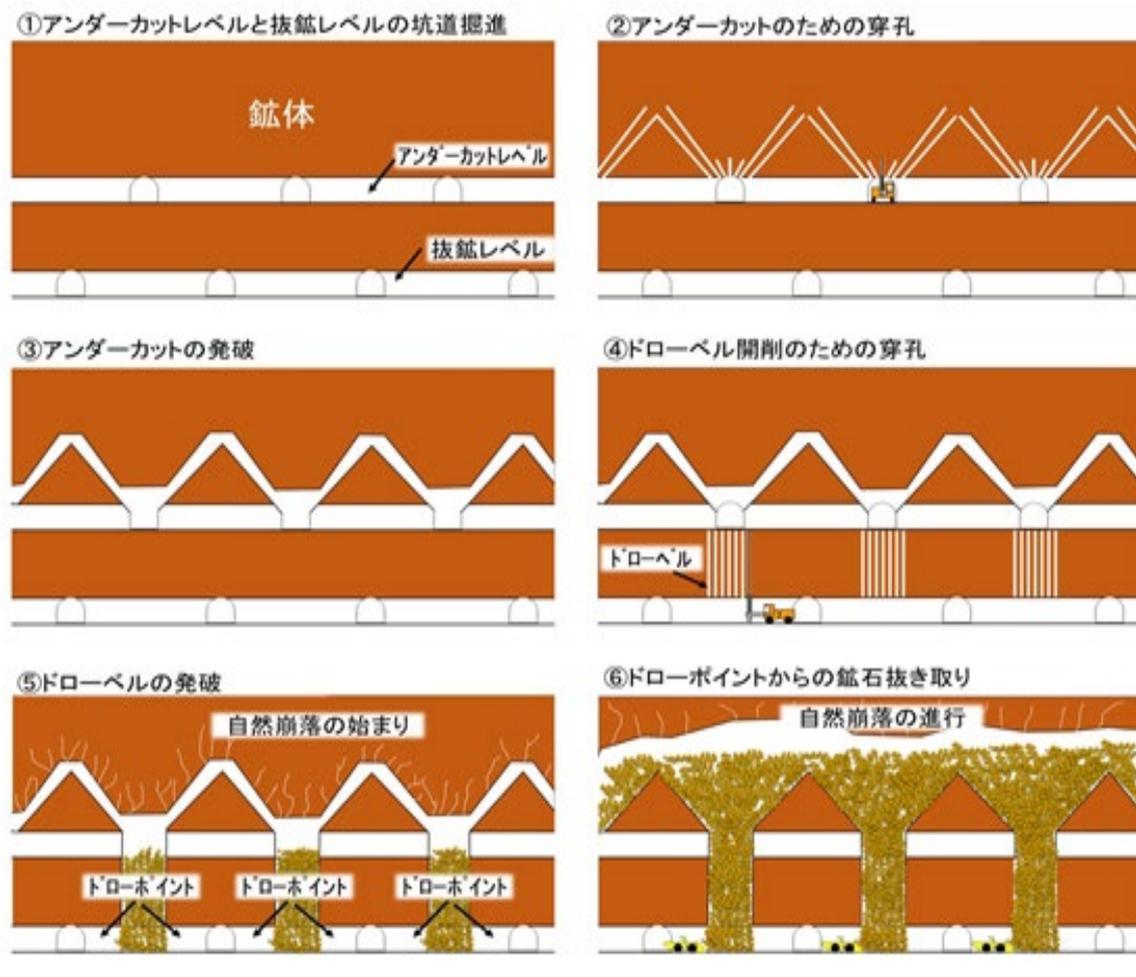
資本金：約43億人民元

上場証券取引所：上海、香港

主要生産物：銅、モリブデン、タングステン、コバルト等

4. ブロックケービング法 概要

ブロックケービング法は、アンダーカット（下透かし）により地下に一定の大きさの空間を設け、その上部に賦存する鉱石を自然崩落（ケーブ）させ、アンダーカットの下部に設けた鉱石抽出口（ドロポイント）から鉱石を回収する採鉱法。坑内採鉱法の中で最も採掘コストが低く、他の大型鉱山でも広く採用されている。鉱石品位が低下し、開発エリアが深部化していく世界的な傾向の中、将来的に露天掘りに取って代わる採掘方法として注目されている。



以上